

こんにちは！

2011年12月17日の教科書を考える呉の会～未来への架け橋～

設立からもうすぐ1年が経とうとしています。

今回は別紙にて継続加入のご案内を差し上げておりますので、  
ご覧になって下さい。(そしてお知り合いにも広めて下さい。)

定例学習会の単元は核心に近づいておりますが、運動はこれからが本番。

皆様の継続加入あつての当会でございます。

お手続きの方、よろしくお願い申し上げます。



### 第 10 回定例学習会 「東アジアの中の日本 (日清戦争)」

育鵬社本領発揮！！口当りのよい毒罌満載

10月21日に行いました。報告です！

日清戦争は朝鮮支配をめぐる戦争であり、日本軍の侵略により、3万から5万人の朝鮮民衆が犠牲になったと推定されています。日本は日清戦争に勝利し、遼東半島や台湾を譲渡されますが、その後台湾で起こった独立抵抗運動を軍事力で制圧します。また、敗北した清は列強による利権獲得の対象として分割されるようになりました。このような事実を子どもたちに押えてもらいたいところですが。。

#### 育鵬社のココが問題！その①

日本の内政干渉を隠し、

「朝鮮を独立国と認める日本、否定する清」というイメージを植え付ける！？

育鵬社の記述	非育鵬社 (東京書籍) の記述
「わが国が日朝修好条規で朝鮮を独立国とみなす一方、清は朝鮮を自らの属国とみなしていました。」	「朝鮮を独立国と認めた条約 (日朝修好条規) を結び… (中略) しかしその内容は不平等条項を押しつけたものでした。」

#### 育鵬社のココが問題！その②

日清戦争は自衛のための戦争！？当時の客観的な情勢とはかけはなれています。

育鵬社の記述	非育鵬社 (東京書籍) の記述
「わが国でも、隣接する朝鮮がロシアなど欧米列強の勢力下に置かれれば自国の安全がおびやかされるという危機感が強まりました。」	(そんなことに関する記述はない。)

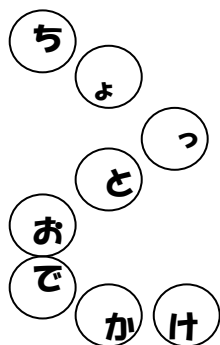
参加者からは、「育鵬社は、『当時の人はこう思っていた』という記述が多く、歴史教科書というより歴史物語だ。」「(育鵬社には) コラムや挿絵で日本の帝国主義を示すものが何もないなんておどろきだ。」「子ども達に被害の歴史を教えるかどうかで現在のナショナリズムへの考え方が変わる。育鵬社は、危険である。」といった活発な意見が出されました。



## 運営委員からひとこと

- 私の子どもは中学校を卒業してずいぶん経っています。
- 自分も学生の頃は勉強して来ていないし、親になって子どもの教科書を見たこともありません。
- 歴史は何が事実で正しいのかもよく分かりません。恥ずかしい話、教科書の学習会は私には難しいです。
- そんな私が運営委員をすることがとてもおこがましくて…。
- でも、以前の扶桑社の教科書反対の意見はがきに取り組んで来たのも、そして、今回運営委員になったのも、子どもたちの平和を思う気持ちが壊されることへの怒りからです。
- 私が知ってるあるお母さんが
- 「保育園で平和への思いを育ててもらった。それが今小学校で書いた作文に表れてる」と綴った文章を目にしました。
- とても感動し、それは私の思いと同じでした。
- そのお母さんの子どもはこれから中学生になってこの教科書を読んでどう思うだろう。
- そう考えたら、やっぱり子どもの素直な気持ちを巧妙な毒でねじ曲げる教科書に怒りがいっぱいです。
- 歴史を学んでない自分が呉の教科書学習会や教科書ネットの学習会に参加し、
- 育鵬社は極端な教科書かもしれないけど、
- 教科書全体がこの教科書を先頭に右に傾きかけていることを知りました。
- 選び方が民主的でなく意図的なことも知りました。
- 次にこの教科書を選ばないだけでなく、選び方もそして、
- 教科書自体も事実をありのままに描けるような教科書を取り巻く状況にしなければと強く思っています。
- このお母さんにも、その子どもにもそして、
- 私の子どもにもそれにつながる多くの方に知らせていきたいと思います。
- まずは11月にそのお母さんに入会を呼びかけるつもりです。

ペンネーム : lovely



### 教科書を考える呉の会～未来への架け橋～

定例学習会です！

前回参加の方、日程が変わりました！お気をつけ下さい。

第11回「日露戦争」

日時：2012年12月02日（日）15：00～17：00

場所：西教寺（駐車場もあります）

冒頭でもお知らせした継続加入のご案内（別紙）を今一度ご確認くださいませ。  
教科書を考える呉の会～未来への架け橋～総会については現在調整中。  
次回のニュースで日時等をお知らせできるかな？と考えています。